

エコアクション 21
環境経営レポート

令和5年度

(令和5年8月～令和6年7月)



作成 令和6年11月11日

田無衛生興業有限会社

1.組織の概要

(1) 社名、代表者及び本社所在地

社名 田無衛生興業有限会社
代表者 小川 智徳
本社所在地 〒188-0011 東京都西東京市田無町 6-6-11

(2) 創業、会社設立及び資本金

創業 昭和 20 年代 設立 昭和 39 年 8 月 1 日 資本金 300 万円

(3) 事業の概要

一般廃棄物収集運搬 産業廃棄物収集運搬 特定家電収集運搬

(4) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役 小川 賢彦
担当者 倉田 薫
連絡先 〒188-0011 東京都西東京市田無町 6-6-11
電話 042-461-2604 FAX 042-468-7562
E-Mail t-eiseikougyou@mte.biglobe.ne.jp

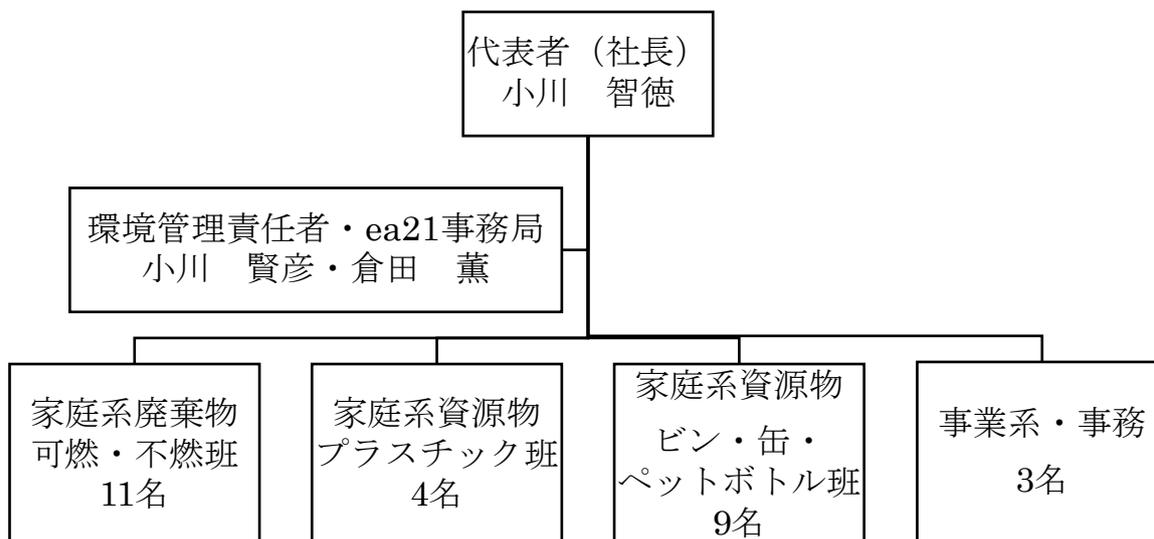
(5) 事業の規模

	2021 年	2022 年	2023 年
売上高(百万円)	196	202	210
収集運搬量(t/年)	6,176	6,019	5,955
従業員数(人)	29	28	30
床面積(m ²)	212	212	212

(6) 認証・登録範囲

全組織・全活動
本社 東京都西東京市田無町 6-6-11
ea21 運用開始年月 平成 21 年 8 月
許可番号 0004803

(7) 実施体制



役割、責任と権限

対象者	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 環境経営方針の制定 ・ 実施体制の構築及び周知 ・ 環境経営に必要な資源の準備 ・ 全体の評価と見直し、必要な指示を行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営目標の取り組み結果を代表者に報告 ・ 環境経営目標、環境経営計画の社内周知 ・ ea21 活動実施の総括 ・ 問題点の是正処置の総括
ea21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営目標、環境経営計画の作成 ・ 環境経営目標レポートの作成 ・ ea21 の活動結果のとりまとめ
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針、環境経営目標に基づく活動の実施 ・ ea21 活動に関する提案

(9) 許可取得状況

一般廃棄物収集運搬許可

西東京市 一廃第6-1号

許可の年月日 令和 6年 4月 1日

許可の有効年月日 令和 8年 3月31日

業の区分 収集・運搬

取り扱う一般廃棄物の種類

事業系一般廃棄物、特定家庭用機器廃棄物

東久留米市 第6-12号

許可の年月日 令和 6年 4月 1日

許可の有効年月日 令和 8年 3月31日

業の区分 収集・運搬

取り扱う一般廃棄物の種類 事業系一般廃棄物

立川市 立環ご許可第53号

許可の年月日 令和 5年 4月 1日

許可の有効年月日 令和 7年 3月31日

業の区分 下記品目の運搬に限る

取り扱う一般廃棄物の種類

西東京市内で排出された特定家庭用機器再商品化法第2条4項に規定する特定家庭用機器

産業廃棄物収集運搬業許可

東京都 第13-00-046825号

許可の年月日 令和 4年 3月28日

許可の有効年月日 令和 9年 3月27日

業の区分 収集・運搬（保管・積替えを除く）

産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（以上7種類）

(9) 施設等の状況

運搬車両の種類・台数

塵芥車 14台・キャブオーバ 3台・2tダンプ 1台

軽トラック 1台・普通乗用車 2台

(10) 受託した処理実績（収集運搬・単位 t）

種類	2021年	2022年	2023年
一般廃棄物	6,146	6,005	5,940
産業廃棄物	16	15	15
家電リサイクル	4	4	4

2.環境経営方針

環境経営方針

[企業理念]

田無衛生興業有限会社は、廃棄物の収集運搬業務を通して循環型社会・持続可能社会の構築と生活環境の維持向上に貢献できるように努め地域に根差した100年企業を目指します。

[環境経営の行動指針]

当社は企業理念に基づき、廃棄物収集運搬業として経営における課題に継続的に取り組み、地域貢献・環境関連法規等を遵守し、全社員一丸となって以下の重点分野の継続的改善に取り組むことを誓約します。

[重点分野]

- 1 二酸化炭素排出量の削減
 - ① エコドライブ・アイドリングストップで排出量の削減
 - ② 事務所・休憩室の電気使用量の削減
 - ③ 事務所・休憩室の都市ガス使用量の削減
- 2 水使用量の削減
 - ① 効率的な洗車等による節水意識の徹底化
 - ② 雨水利用
- 3 廃棄物排出量の削減
 - ① リユース・リサイクルの更なる推進
 - ② 分別の徹底・資源化
- 4 環境保全・地域貢献活動
 - ① 廃棄物収集運搬業務を通して循環型社会・生活環境の向上に努めます
 - ② 従業員による会社周辺地域の清掃活動
 - ③ 教育的な質の向上・環境経営システムの改善・SDGsの理解と推進に努めます
 - ④ BCPによる災害・感染症対策と早期災害復旧に向けた自治体との連絡協力

制定日 平成23年 1月23日

改訂日 令和 3年 8月 1日

田無衛生興業有限会社

代表取締役社長 小川 智徳

3.環境経営目標と実績

環境経営 目標項目	単位	基準年度	年度目標			令和 5 年度 実績と評価		
			平成 25 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			令和 7 年度
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2	79,911	92,592	91,789	90,870	91,821	○	
内 訳	電気使用量の 削減	目標		5%削減	5年実績	1%削減		
		kWh	8,610	8,180	9,340	9,247	9,340	×
		kg-CO2	4,348	4,131	4,212	4,170	4,212	
	ガソリン使用 量の削減	目標	H30 年度	1%削減	2%削減	3%削減		
		L	1,240	1,565	1,549	1,534	1,472	○
		Kg-CO2	2,879	3,640	3,604	3,568	3,415	
	軽油使用量の 削減	目標	H29 年度	5%削減	6%削減	7%削減		
		L	28,931	31,986	31,666	31,349	32,382	△
		Kg-CO2	75,924	83,941	83,102	82,270	83,546	
	都市ガス使用 量の削減	目標		10%削減	11%削減	12%削減		
		N m ³	462	418	414	410	300	○
		Kg-CO2	974	880	871	862	648	
廃棄物排出量の 削減	目標		9%削減	10%削減	11%削減		○	
	kg	77.5	70.8	70.1	69.4	51.3		
水使用量の削減	目標		10%削減	11%削減	12%削減		○	
	m ³	642	579	573	567	469		
回収物の 取り忘れ件数	目標		同数	同数	同数		×	
	年/回		90	90	90	122		

※電気の二酸化炭素排出係数は東京電力エナジーパートナー令和 4 年度実績 0.451kg-CO2/kWh を使用

※科学物質の使用はありません

4.環境経営計画の取組結果と評価・次年度取組

環境経営 目標項目	具体的な取組	取組結果及び評価	次年度の 取組内容
電気使用 量の削減	①照明、電子機器の 不使用時の消灯 ②空調温度管理 ③エアコン使用時、 扇風機を併用	取り組めているが、感染症対策を行っているため空気清浄機の使用増、冷暖房使用時の換気等で目標は達成できなかった 評価 △	取組を継続
自動車燃 料使用量 の削減	①エコドライブの 実施 ②定期点検整備 ③車内の空調管理	エコドライブの実施、適切な点検整備、車内の空調管理に取り組めた 評価 ○	取組を継続
都市ガス 使用量の 削減	①暖房機器の使用頻 度の低減 ②暖房機器の設定温 度管理	適切に取り組めた 評価 ○	取組を継続
水使用量 の削減	①効率的な洗車 ②雨水の再利用 ③節水の張り紙	前年度より洗車の回数は増加したが、年間を通じて適切に取り組めた 評価 ○	取組を継続
廃棄物の 削減	①リユース・リサイ クルの更なる推進 ②分別の徹底・資源 化 ③発生抑制	年間を通じて取り組めた 評価 ○	取組を継続
グリーン 購入	環境に配慮した 製品を購入	事務用品購入時グリーンマークを意識し購入できている 評価 ○	取組を継続
サービス の改善	回収物の 取り忘れ件数	朝のミーティング、無線機での注意喚起、再発防止に取り組んでいるが前年度より増加してしまった 評価 △	取組を継続

5.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反の有無

区分	環境関連法規等名称	該当事項	要求事項・遵守事項	評価
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物の収集運搬	①事業を行う市区町村の許可 ②2年ごとに更新する	○
		産業廃棄物の収集運搬	①事業を行う都道府県知事の許可 ②5年ごとに更新 ③委託契約(2者契約、許可書の写し) ④マニフェスト交付(1年ごと閉鎖し、閉鎖後5年間事業場ごとに保存) ⑤実績報告書・状況報告書の提出	○
資源循環	家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫洗濯機の廃棄	①リサイクル券を購入し指定場所へ引き渡し、リサイクル券を1年間保存	○
	自動車リサイクル法	車両廃棄時	①適正処分義務	○
大気汚染	自動車 Nox - PM 法	トラック	①自動車 Nox - PM 法基準適合車の使用	○
	フロン排出抑制法	業務用エアコン	①3カ月に1回簡易点検 ②点検結果は機器を廃棄後3年間保存	○
交通関係	道路交通法		①無免許運転の禁止 ②安全運転管理者等の設置 ③過労運転の禁止 ④過積載の禁止	○
	貨物自動車運送事業法		①貨物自動車運送事業の許可 ②運行管理者の設置	○
	道路運送車両法	車両	①車検・3カ月点検・日常点検の保存 ②整備管理者の配置	○
	消防法	社屋	①機器点検 ②3年に1回、点検結果を消防所に連絡	○
その他の要求事項	西東京市ごみ収集委託仕様書	西東京市委託業務	①西東京市一般廃棄物収集運搬委託契約に基づく仕様書に従う	○

※当社に適用される主な法規は上記の通りで違反はありませんでした。

尚、違反等の指摘は過去3年間ありませんでした、起訴もありません。

6.代表者による全体の評価と見直し結果

実施日	令和6年10月29日		
対象期間	令和5年8月1日～令和6年7月31日		
出席者	代表者、取締役、環境管理責任者、担当者		
前年度の指示	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を達成できた自動車燃料・都市ガス・廃棄物・水使用量は引き続き取り組む ・新車2台導入 ・電気の削減目標は未達のため再度5%削減目標にし感染症対策を行いながら達成手段に取り組む ・サービスの改善目標は回収物の取り忘れ件数に変更し昨年度は100件あったので目標値を90件に定めて取り組む ・夏季猛暑対応により増便する可能性がある 		
前年度の指示の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出目標は達成できた ・新車2台導入した ・電気の削減目標は再度5%削減に設定したが未達となった ・夏季猛暑対応のため1台増便した 		
次年度指示	<ul style="list-style-type: none"> ・新車3台発注し年度内に2台導入予定 ・電気使用の目標値は感染症対策で増加もあり目標値が適切でなくなっているため目標値を今年度実績に変更する ・夏季猛暑対応は次年度も増便する可能性あり ・安全教育、情報伝達アプリを導入予定 ・環境経営方針、実施体制の変更なし 		
代表者によるコメント	<p>ここ数年、気温上昇による猛暑日は増加の一途であり、二酸化炭素の排出削減のみならず、従業員の熱中症対策も行わなければならない。また、令和6年元日の能登半島地震、同年9月21日の奥能登豪雨による被害は、自然災害の脅威を改めて知らされた出来事であり、業務を継続していくための事業継続計画にもしっかりと取り組んでいく必要がある。</p>		
見直しの結果		変更の有無	内容
	環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	環境経営目標及び計画	<input checked="" type="radio"/> 有・無	電気使用の目標値
	実施体制	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	その他	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	